

【0～2歳児共通の助言内容】

◎発達・成長段階の差が大きい。子どもの発達や興味に応じていく。小さい年齢の保育室(保育環境)は、広い空間より区切り・仕切りを活用し狭さがある方が安定する。広さがあると、走ってしまう。園ごとで保育室の広さや受け入れ人数の違いはあるが、子どもたちがおもちゃを自分で選べるような環境作りを。 《令和2年度視察訪問アドバイス集(各年齢まとめ)より》

① 自分でできるよ！（絵本編）



絵本棚に注目。ラミネートをした絵本の表紙が貼ってあります。絵本は、季節ごとに変更。これまでは、声かけをしないと片付けができなかったのが、絵本を進んで選ぶ、片付ける子が増えました。（2歳児）

① 自分でできるよ！（遊び編）

保育環境

自分でおもちゃを手にとったり、遊びが選べるような写真

① 変化したよ。

保育環境のビフォーアフター

視察訪問前後で変えたことにより、子どもの遊びや姿が変わった

① 安心できるなあ



② 窓や壁の工夫をすると…

